

救急認定薬剤師

(Certified Pharmacist for Emergency Medicine : CPEM)

薬剤部 主任補 古田 絢一



救急認定薬剤師取得の背景

近年、医療現場ではタスクシフト／シェアの考え方が重要視されており、薬剤師が積極的に介入することで医師や看護師の業務負担を軽減し、チーム医療全体の質向上につながると考えられています。

特に救急医療の現場では、迅速かつ正確な判断が求められ、薬剤師が果たす役割は大きく、患者さんへの薬物療法において質と安全性の確保が強く求められています。

こうした背景から、私は救急認定薬剤師の取得を目指しました。2022年9月には、愛媛県で唯一となる救急外来に薬剤師が常駐する体制を整え、そして2023年に救急認定薬剤師を取得しました。

救急認定薬剤師の業務

救急外来での業務は、患者さん

の常用薬や既往歴を早期に把握し、診療に必要なサポートを行います。

搬送直後から薬歴を確認し、治療方針に役立つ情報を提供。必要に応じて薬剤の調整を行い、医師や看護師と協力して業務を進めています。集中治療室では、重症患者の薬物療法に関わり、チームの一員として治療の質を高める役割を担っています。こうした活動を通じて、救急医療の現場で薬剤師がいることの意義を日々実感しています。

今後の展望

救急医療における薬剤師の関わりを体系的に研究し、その成果を現場へ還元していきたいと考えています。さらに薬剤師だけでなく、他職種に対し薬に関する情報を共有し、チーム全体の知識と対応力

を高めていきたいと思っています。そして、災害医療においても災害時に備えて医薬品供給や薬学的支援を行えるよう、まずは準備や体制を整えていきたいと考えています。

救急認定薬剤師として、薬の専門性を活かし、患者と医療従事者双方に安心を届けられる体制づくりに努めてまいります。



ボランティア「しらさぎ白鷺」通信

医療社会活動室 室長 井上 より子

皆様の支えに感謝する活動

2025年度も、地域の方やボランティアの皆様のご尽力によりイベントを開催できましたことに心より感謝申し上げます。

10月・愛媛県立松山盲学校理療科のマッサージ施術に関する現場実習での交流
・秋の大収穫祭レンコンのプレゼント

松山市民病院職員の院内福利厚生プログラム「癒しのひととき体験」として、愛媛県立松山盲学校理療科の皆さんの実習の一環として、あんま・マッサージ施術での交流を企画いたしました。「体が温まり全身がほぐれて軽くなった」「肩や腰が楽になった」「リラックスでき、気持ちもすっきりした」など、大変好評でした。

また、山本理事長と西岡農園さんの協力でレンコンのプレゼント第2弾を開催しました。9月に行った第1弾同様、「縁起物なのでうれしい」「新鮮でおいしそうだ」と喜んでいただきました。

11月 動物ふれあいフェスタ

河原アイペットワールド専門学校の協力で第3弾を開催しました。「たのしい」「かわいい」「いやされた」など、笑顔がいっぱいでした。

12月 クリスマスツリーなどのプレゼント

当院ボランティアさん手作りのクリスマスツリーや飾り、小物類、多肉植物などを、聖カタリナ学園高等学校衛生看護科専攻科の学生さんの協力でプレゼントいたしました。患者さんやご家族に、とても気に入っていただきました。

ウェルビーイング時代において、患者さんやご家族、地域に寄り添い、笑顔と癒しのひとときをお届けできるよう、これからも皆様とともに取り組んでいきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

